

2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2026年10月30日

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所 上場取引所 東
コード番号 6135 URL <https://www.makino.co.jp/>
代表者（役職名）取締役社長（氏名）宮崎 正太郎
問合せ先責任者（役職名）専務取締役管理本部長（氏名）永野 敏之（TEL）046-284-1439
半期報告書提出予定日 2026年11月12日 配当支払開始予定日 2026年12月2日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	145,996	22.3	17,644	85.7	17,999	70.9	13,688	102.4
2026年3月期中間期	119,421	10.3	9,500	25.4	10,530	38.9	6,762	16.9

（注）包括利益 2027年3月期中間期 15,301百万円（64.1%） 2026年3月期中間期 9,326百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	117.21	—
2026年3月期中間期	57.83	—

当社は、2026年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	452,998	267,970	59.2
2026年3月期	423,026	261,429	61.7

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 267,970百万円 2026年3月期 261,056百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	270.00	270.00
2027年3月期	—	160.00	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	—	—	36.00	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2026年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期及び2027年3月期第2四半期末につきましては、当該株式分割前の配当金の額を記載しております。2027年3月期（予想）の期末配当金につきましては、当該株式分割を考慮した配当金の額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2027年3月期（予想）の期末配当金は180円、年間配当金は340円であります。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	306,000	17.2	36,300	45.0	37,100	35.9	29,000	38.1	249.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、2026年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割後の発行済株式数（自己株式を除く）により算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社（社名）— 、除外 —社（社名）—
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	124,469,205株	2026年3月期	124,469,205株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	8,246,110株	2026年3月期	7,510,920株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	116,780,259株	2026年3月期中間期	116,944,095株

(注) 当社は、2026年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	11
受注及び販売の状況	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における業績は、売上高1,459億96百万円(前年同期比22.3%増)、営業利益176億44百万円(前年同期比85.7%増)、経常利益179億99百万円(前年同期比70.9%増)、純利益136億88百万円(前年同期比102.4%増)となりました。

上期の連結受注は1,779億39百万円(前年同期比42.2%増)となりました。北米、中国を中心としたアジア地域、更には日本国内においても設備投資需要が増加しています。当社においては航空宇宙関連や半導体製造装置関連を中心に受注が増加しました。

第2四半期(2026年7月～9月)における報告セグメント別の受注状況(現地通貨ベース)は以下のとおりです。

(当社報告セグメントはグループの販売体制をもとに構成しています。詳細については9ページを参照ください)

セグメントⅠ(「個別」および国内連結子会社)

牧野フライス製作所の国内受注は前年同期を上回りました。

半導体製造装置関連やエネルギー関連を中心に部品加工向けが増加したほか、航空宇宙関連が堅調に推移しました。

セグメントⅡ(MAKINO ASIA PTE LTD)

アジアの受注は前年同期を上回りました。

中国は前年同期を上回りました。半導体製造装置関連や油圧機器などの産業機械向けを中心とした部品加工向けが堅調に推移しました。また現地で生産する放電加工機の受注が、自動車関連や電子機器などの金型向けで堅調に推移しました。

インドは自動車関連および半導体製造装置関連などの部品加工向け並びに航空機関連が堅調に推移し、前年同期を上回りました。

アセアンは半導体製造装置関連が底堅く推移し、前年同期を上回りました。

セグメントⅢ(MAKINO INC.)

アメリカの受注は前年同期を上回りました。

航空宇宙関連が好調に推移したほか、自動車関連や医療関連などの部品加工向けも増加傾向にあります。

2026年9月にシカゴで開催された国際製造技術展 IMTS2026では、好調な航空宇宙関連をはじめとする幅広い産業向けに最新の5軸加工機や加工サンプルを用いた提案を行い、前回は上回る商談件数を獲得しました。引き続き受注へつなげられるよう努めます。

セグメントⅣ(MAKINO Europe GmbH)

ヨーロッパの受注は前年同期を上回りました。

2026年9月にドイツ・シュツットガルトで開催されたドイツ国際金属加工見本市 AMB2026では最新の5軸加工機を展示したほか、会場近郊の当社ショールームへお客様を招待し、航空宇宙関連向けの大型機や、自動化の提案を行いました。引き続き、受注の獲得に向け尽力します。

2026年10月26日(月)～10月31日(土)の6日間開催されている日本国際工作機械見本市 JIMTOF2026にて、最新機種である立形マシニングセンタ「V600」と、日本初公開となる5軸制御横形マシニングセンタ「a630iT」などを出展しています。

V600は金型向けのロングセラー「Vシリーズ」の最新機種です。機内の加工エリアを拡張し、より大きな加工物の積載を可能にしつつ、フロアスペースを従来比16%縮小しました。自動化支援ソフトウェア「MAS-μCX」と組み合わせ、スケジューリングや機械状態の監視など、これまで手作業で行われていた周辺業務を自動化することで、省人化に貢献します。

a630iTは、当社の機種ラインアップを拡充する中型の5軸制御横形マシニングセンタです。高い切削能力と信頼性により、航空宇宙関連や発電関連などを中心に多様なニーズに対応できる機種となっています。

今後も市場のニーズに応えられる新機種の開発を進め、高度化するお客様の課題やお困りごとの解決を支援する、付加価値の高いご提案が出来るよう取り組みます。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、建物及び構築物(純額)227億66百万円の増加、建設仮勘定210億43百万円の減少、棚卸資産127億94百万円の増加、売上債権100億28百万円の増加、投資有価証券30億29百万円の増加並びに現金及び預金28億29百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ299億72百万円増加し、4,529億98百万円となりました。

負債につきましては、長期借入金180億円の増加、1年内償還予定の社債を含む社債50億円の減少、前受金等のその他流動負債47億41百万円の増加、仕入債務46億68百万円の増加、未払法人税等25億75百万円の増加並びに短期借入金17億29百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ234億30百万円増加し、1,850億27百万円となりました。

また、純資産につきましては、利益剰余金73億72百万円の増加、その他有価証券評価差額金28億29百万円の増加、自己株式21億91百万円の増加並びに為替換算調整勘定8億70百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ65億41百万円増加し、2,679億70百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月30日に公表した業績予想を修正しました。具体的内容は本日(2026年10月30日)公表した「第2四半期(中間期)業績予想の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	75,137	72,308
受取手形、売掛金及び契約資産	60,934	70,963
有価証券	39	839
商品及び製品	37,317	39,001
仕掛品	20,622	27,645
原材料及び貯蔵品	51,068	55,157
その他	15,406	17,613
貸倒引当金	△1,298	△1,161
流動資産合計	259,229	282,367
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	42,500	65,267
機械装置及び運搬具(純額)	10,489	12,190
工具、器具及び備品(純額)	4,425	4,485
土地	20,257	20,440
リース資産(純額)	8,720	8,466
建設仮勘定	24,410	3,366
有形固定資産合計	110,804	114,217
無形固定資産		
その他	3,569	3,488
無形固定資産合計	3,569	3,488
投資その他の資産		
投資有価証券	30,549	33,578
長期貸付金	429	415
繰延税金資産	6,696	7,047
退職給付に係る資産	7,948	7,483
その他	3,851	4,450
貸倒引当金	△51	△51
投資その他の資産合計	49,422	52,925
固定資産合計	163,796	170,630
資産合計	423,026	452,998

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,448	26,962
電子記録債務	15,861	16,016
短期借入金	16,759	15,030
1年内償還予定の社債	10,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	9,000	9,000
リース債務	1,469	1,332
未払法人税等	3,339	5,915
その他	51,722	56,463
流動負債合計	130,601	135,720
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	7,000	25,000
リース債務	4,130	4,010
繰延税金負債	11,462	12,688
役員退職慰労引当金	173	183
退職給付に係る負債	843	272
その他	2,384	2,150
固定負債合計	30,995	49,306
負債合計	161,596	185,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,142	21,142
資本剰余金	37,140	37,261
利益剰余金	156,414	163,786
自己株式	△7,163	△9,355
株主資本合計	207,534	212,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,815	20,645
為替換算調整勘定	31,272	30,402
退職給付に係る調整累計額	4,434	4,087
その他の包括利益累計額合計	53,521	55,135
非支配株主持分	372	-
純資産合計	261,429	267,970
負債純資産合計	423,026	452,998

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	119,421	145,996
売上原価	83,129	96,032
売上総利益	36,291	49,963
販売費及び一般管理費	26,791	32,319
営業利益	9,500	17,644
営業外収益		
受取利息及び配当金	590	591
助成金収入	410	230
その他	597	497
営業外収益合計	1,598	1,318
営業外費用		
支払利息	307	382
為替差損	224	494
その他	36	87
営業外費用合計	568	963
経常利益	10,530	17,999
特別利益		
固定資産売却益	114	222
投資有価証券売却益	73	1,065
特別利益合計	187	1,288
特別損失		
固定資産除却損	16	31
公開買付関連費用	1,104	70
特別損失合計	1,121	101
税金等調整前中間純利益	9,596	19,186
法人税等	2,830	5,496
中間純利益	6,765	13,689
非支配株主に帰属する中間純利益	3	1
親会社株主に帰属する中間純利益	6,762	13,688

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
中間純利益	6,765	13,689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,146	2,831
為替換算調整勘定	1,605	△870
退職給付に係る調整額	△190	△350
その他の包括利益合計	2,561	1,611
中間包括利益	9,326	15,301
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	9,323	15,301
非支配株主に係る中間包括利益	3	0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	9,596	19,186
減価償却費	3,964	4,915
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△299	△120
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6	9
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△342	△582
受取利息及び受取配当金	△590	△591
支払利息	307	382
為替差損益(△は益)	△5	12
投資有価証券売却損益(△は益)	△73	△1,065
固定資産売却損益(△は益)	△114	△222
固定資産除却損	16	31
公開買付関連費用	1,104	70
売上債権の増減額(△は増加)	7,355	△10,842
棚卸資産の増減額(△は増加)	△6,120	△13,811
仕入債務の増減額(△は減少)	2,175	5,428
その他	8,920	5,757
小計	25,900	8,557
利息及び配当金の受取額	585	591
利息の支払額	△291	△384
法人税等の支払額	△3,069	△3,620
公開買付関連費用の支払額	△1,646	△70
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,478	5,072
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,242	△9,670
有形固定資産の売却による収入	433	685
投資有価証券の取得による支出	△2	△3
投資有価証券の売却による収入	85	1,167
その他	△494	△571
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,220	△8,392
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,797	△1,612
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△589	△683
長期借入れによる収入	3,000	18,000
長期借入金の返済による支出	△11,500	-
社債の償還による支出	△5,000	△5,000
自己株式の取得による支出	△3	△2,205
自己株式取得のための預け金の増減額(△は増加)	-	△1,295
子会社の自己株式の取得による支出	-	△26
配当金の支払額	△2,336	△6,306
非支配株主への配当金の支払額	△6	△4
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△251
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,638	614
現金及び現金同等物に係る換算差額	△58	△125
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,561	△2,830
現金及び現金同等物の期首残高	64,067	75,151
現金及び現金同等物の中間期末残高	71,628	72,321

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行っており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行っております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠ. は、牧野フライス製作所が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ノルウェー、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。さらに、国内関係子会社を含んでおります。

報告セグメントⅡ. は、MAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢ. は、MAKINO INC.(アメリカ)が担当しているセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣ. は、MAKINO Europe GmbH(ドイツ)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェーを除く)のすべての国です。

I 前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	18,389	61,589	33,273	6,169	119,421
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	40,514	5,206	171	18	45,910
計	58,903	66,795	33,445	6,187	165,332
セグメント利益 又は損失(△)	3,442	4,181	1,388	△1,038	7,974

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	7,974
未実現利益の消去他	1,525
中間連結損益計算書の営業利益	9,500

II 当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	22,239	67,430	46,923	9,403	145,996
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	51,059	7,959	478	12	59,510
計	73,298	75,390	47,402	9,415	205,506
セグメント利益 又は損失(△)	10,233	7,153	2,811	△741	19,456

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	19,456
未実現利益の消去他	△1,812
中間連結損益計算書の営業利益	17,644

3. その他

受注及び販売の状況

1. 受注の状況

受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当中間連結会計期間 自 2026年4月1日 至 2026年9月30日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	37,147	20.9	+59.7
II	78,237	44.0	+26.0
III	47,428	26.6	+52.0
IV	15,125	8.5	+76.9
合計	177,939	100.0	+42.2

受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当中間連結会計期間末 2026年9月30日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	36,843	25.9	+54.6
II	40,181	28.3	+18.9
III	45,165	31.8	+16.0
IV	19,991	14.0	+89.0
合計	142,181	100.0	+32.7

2. 販売の状況

販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当中間連結会計期間 自 2026年4月1日 至 2026年9月30日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	22,239	15.2	+20.9
II	67,430	46.2	+9.5
III	46,923	32.1	+41.0
IV	9,403	6.5	+52.4
合計	145,996	100.0	+22.3